

2015 SETANA-CUP 雪合戦大会  
上位4チームが壮瞥町で開かれる本大会へ出場

Koho - kenbunroku

広報見聞録



2月1日(日)、北檜山スポーツ公園において、2015 SETANA-CUP 雪合戦大会(同実行委員会主催)が開催されました。

この大会は、2月28日、3月1日に胆振管内壮瞥町で開催される第27回昭和新山国際雪合戦の渡島檜山予選会を兼ねた公式大会で、当日はせたな町を含め、八雲、上ノ国など渡島・檜山管内の各市町村から全8チームが出場。

結果、チーム「せたなレスキュー」が優勝し、上位4チームは、本大会への出場権を獲得しました。

また、この日は小学生の部も開催され、町内の小学生6チームが参加。見よう見まねながらも、白熱した試合展開に会場は盛り上がっていました。

●本大会出場権獲得チーム

- 優勝：せたなレスキュー
- 準優勝：せたな町役場SFC
- 3位：メリット5
- 5位：檜山フットサル同好会

※3位のチーム「牧場さわやか」が出場辞退のため5位の「檜山フットサル同好会」が繰り上げ出場となります。

編集後記

●統計の仕事も落ち着き、町民スキー大会の取材へ。雪が重く、視界もよくありませんでしたが選手は言葉を背に練習の成果を発揮していました。野外スポーツの撮影はブレや光のさす方向を探るのが難しいですが、一枚が撮れたときの嬉しさはひとしおに感じられます。撮っていて楽しかったので動きに強いレンズが欲しくなりましたが、スキーがしたくはならないインドア派の清水でした。(清水)

●雪合戦の写真撮りは、いいアングルを求めると氷の塊みたいな雪玉が飛び交う危険地帯に入るため、カメラを壊してはいけません。ものすごく痛いので自分も被弾したくない。なので、なかなか危険な撮影となります。それでも3球ほど足に被弾しましたが、カメラはなんとか無事でした。今年は小学生の部も開催され初めての子どもも多いなか、大変盛り上がり、試合展開でしたが、撮影班としてはどこに飛んでくるかわからない子どもたちの雪玉の方が実は一番避けるのが大変でした。子どもたちといえは、今回、水フロの学習発表会を取材しましたが、3年生から4年生に対する質問の視点が素晴らしく、対する4年生の回答も分かりやすく的確を得たもので、頭の固くなった自分には、とっても感動を覚えるやり取りでした。その中でも特に印象に残ったのは、天然記念物って何ですか？誰が決めるんですか？という質問。これはさすがに難しく、「分からないけど、安倍総理とか国の偉い人が決めていると思います」と子どもたちが回答していました。さすがはかががですか？悔しくて「さそり調べたら文化財保護法に」基づき文部科学大臣が指定するそうです。大変勉強になりました。(尾野)

